



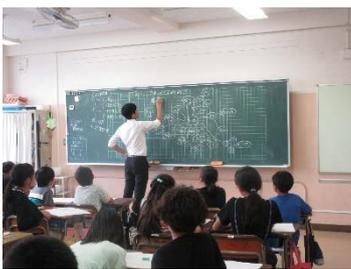
6月20日(木)、南下浦小学校の3～6年生が海藻おしば教室に参加しました。導入で、身近にある海藻(海苔やワカメなど)の話に触れた後、DVD「ようこそ海の森へ」を見て、海藻の果たしている役割について学習しました。子どもたちは、海藻の森が「生き物を育てるすみか」になり、「海をきれいにする」働きをしていることを学びました。

続いて、活動に移りました。台紙となるはがきを水に濡らし、その上に、ようじを使って、海藻を丁寧に広げていきます。各自が思い思いのデザインを考え、素敵な作品ができました。先生方も参加していました。



作品は、1週間後くらいに、乾燥、パウチされて学校に届くそうです。日本海洋レジャー安全・振興協会や海藻おしば協会の皆さん、ご指導ありがとうございました。

6月6日(木)、名向小学校5年生が、真珠の浜揚げに挑戦しました。一人一つのアコヤガイを開けていきました。20個ほどの真珠が出てきました。



終了後、担任の先生から、「日本でもほとんどやっていない貴重な体験をさせてもらったことを感謝しましょう」という話がありました。小パール隊の皆さん、ありがとうございました。



今回の浜揚げは、7月の真珠の核入れに向けての意識付けのために行われました。5年生は、先日も、真珠について学習していました。(左の写真)

6月23日(日)に、石川県金沢市の金沢海みらい図書館で行われた「海とみらいと科学の日2019」に、三浦市の真珠の養殖についてのポスター等が展示されました。(右の写真)

これは、以前から本研究所と交流している能登里海教育研究所の要請で、三浦市の海洋教育の一つとして、紹介されたものです。このポスターは、2017年度に、横浜市で開催された全国生活科・総合研究協議会において、名向小学校がポスター発表したものです。展示用の真珠とアコヤガイの貝殻は、小パール隊に提供していただきました。



三浦の海洋教育が、県外でも紹介されたのは、うれしいことです。



南下浦小学校の、「海洋教育通り」の写真です。校舎の1階廊下に、全校の取組(海岸での砂工作や海岸での全校マラソンなど)や各学年の取組(海藻の研究や磯観察など)が紹介されています。



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで